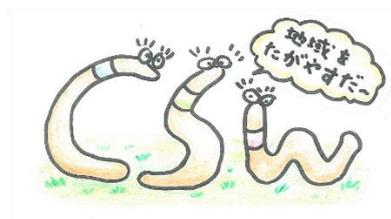


うるま市地域見守りネットワーク事業活動報告

～第8号～



令和3年12月

うるま市社会福祉協議会 地域福祉課
コミュニティソーシャルワーカー(CSW)
TEL:098-973-5459

令和3年11月19日に「見守りネットワーク連絡会」を開催しました。約2年ぶりの連絡会開催となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、昨年度より新規で協定を結んで頂きました事業所を対象としまして、「市内高齢者の現状と認知症高齢者等の対応方法について」というタイトルで「うるま市地域包括支援センターいしかわ」を講師に招き勉強会を開催しました。次年度は、協定事業所の皆様が一堂に介した勉強会の開催ならびにうるま市の地域福祉がより発展できるような連絡体制づくりを目指していきたいと考えています。引き続き企業の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

包括支援センターより

- ・地域包括支援センターの役割
- ・成年後見制度
- ・認知症高齢者の対応方法

おもにこの3点についてアドバイスがありました。



認知症はとにかく早期発見が重要です。早期治療で認知症状の適切な治療により進行を遅らせることができます。日常生活での“気づき”がポイントです！！

- ・物忘れがひどい
- ・人柄が変わる
- ・判断力や理解力が衰える
- ・意欲がなくなる
- ・時間や場所がわからない
- ・不安感が強い

※詳しくは裏面をご覧ください。

今年も残りわずかとなりました・・・

本年も事業へのご協力ありがとうございました。来年も皆さまのご協力を得ながら、事業の推進を行っていきたく考えています。引き続きご協力よろしくお願いいたします。また、業務中に気になる世帯などを発見しましたら、遠慮なく社会福祉協議会へご連絡ください。

まずはもの忘れチェックをしてみよう!!

“家族がつくった”認知

- もの忘れがひどい**
 - 今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる
 - 同じことを何度も言う・問う・する
 - しまい忘れ置き忘れが増えつつも探し物をしている
 - 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
- 人柄が変わる**
 - 些細なことでも怒りっぽくなった
 - 周りへの気づきがいなくなったり頑固になった
 - 自分の失敗を人のせいにする
 - 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた
- 判断・理解力が衰える**
 - 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
 - 新しいことが覚えられない
 - 話のつじつまが合わない
 - テレビ番組の内容が理解できなくなった

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からままとめたものです。医学的につか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみることがよいでしょう。

なぜ早期発見が重要??

認知症はある日、突然おこる病気ではありません。もの忘れが気になりはじめ、徐々に進行し、認知症が発症する前には、軽度認知障害(MCI)と呼ばれる正常な状態と認知症の中間のような状態があります。



早期発見による3つのメリット

- メリット1 早期治療で改善も期待できる**
認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し早期に治療をはじめると、改善が期待できるものもあります。

②

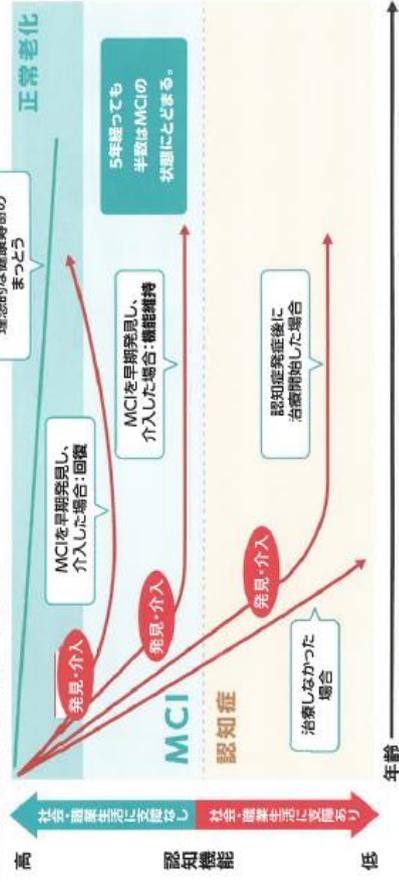
認知症による変化は、ゆっくり現れることが多く、周りが気づく場合も多いものです。家族や身近な人でもチェックができます!!半年から1年前の状態と現在を比べてみてください。

症・早期発見のめやす

- 意欲がなくなる**
 - 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
 - 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
 - ふさぎ込んで何をやるのもおっくうがり、いやがる
- 時間・場所がわからない**
 - 約束の日時や場所を間違えるようになった
 - 慣れた道でも迷うことがある
- 不安感が強い**
 - ひとりになると怖がりたり寂しがりたりする
 - 外出時、持ち物を何度も確かめる
 - 「頭が変になった」と本人が訴える

的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

【早期発見と病状の進行】



メリット2

進行を遅らせることができる
認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。

メリット3

事前にさまざまな準備ができる
早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。

③